

平成二十六年卒業論文題目一覧

〈国語〉

- 庵原 史子 西周時代における諡号研究
 石川 結衣 読書生活につながる学校図書館に関する研究
 石神 蘭香 小学校図書館を中心に――歴史認識問題
 風張 沙樹 国語教育と日本語教育の対照から見る語彙とその指導 ―教科書分析を通して―
 菊池 遥 〈朝ドラ〉論 ―ヒロイン像の変容をめぐって―
 菊池 洋平 「道教」の成立と発展
 木村 真子 黄巾の乱と唐代における国家宗教としての道教を中心にした中国社会に対する「道教」の影響―
 坂田 七彩 詩の鑑賞指導における課題とは――感性との関係性を踏まえて――
 坂本 千紘 ポライトネス理論から見たタメロ
 佐々木里佳 イソップ寓話「田舎のねずみ都会のねずみ」論
 菅森 光希 ねずみから紐解く私たちの居場所を巡って
 佐藤 安希 荻原規子のファンタジー世界
 菅原 大樹 〈少女〉と〈女神〉の関係性を中心に――日本昔話研究 ―絵本化と教材化の視点から――
 菅原 也実 文学テクストに対する読者反応の研究
 煤賀 里恵 宮澤賢治と大正教養主義
 日欧オオカミ信仰論
 出土資料を利用した太公望の人物像の再検討

多田千早都

現代女流文学論

女子高生のアイデンティティと生態をめぐって

寺地 朝哉

〈笑い〉考

現代児童文学論 ―大人の描かれ方を巡って―

音声談話素材から分析した盛岡弁に対する言語意識

国語科授業における学びのイノベーションの研究

ICT機器の活用を中心に――

中世神話論 ―「苦しむ神」をめぐって―

「JSLカリキュラム」を活用した学習指導について

長谷部はる美

『千と千尋の神隠し』研究

不思議の町で覚醒した生きる力をめぐって――現代教育の課題 ―近世教育史の視点から――

学習者の意欲を高める古典教育の在り方に関する研究 ―中学校国語科を中心に――

第二言語習得における誤用分析

否定の表現をめぐって――

『徒然草』研究 ―遁世の思想を巡って――

「千と千尋の神隠し」論

柏葉幸子作品の影響をめぐって――

村上 里穂

吉田 涼

山形 有葵

熊谷陽菜子

佐々木えりの

伊達政宗の人と書

深山龍洞の人と書

高橋 美波

文章内容と書表現の関係性に関する考察

〈書道〉

高橋 美波

文章内容と書表現の関係性に関する考察

深山龍洞の人と書

高橋 美波

文章内容と書表現の関係性に関する考察

深山龍洞の人と書

中村 梨絵 空間と書 ―暮らしの中から考える―

平成二十六年年度修士論文題目一覧

加賀美瑞穂 読書生活を展望した文学的文章の授業の在り方に
関する研究

邵 俊俏 ポライトネスにおける日中対照研究
―依頼表現を中心に―

鐘 雪嬌 中国の吳方言地域の言語意識とその変容
―日本の地域言語意識と対照して―

高久 和則 文学的文章における読者反応の研究
呼称に関する日中対照研究

張 鈺涵 ―ジェンダーの視点から見た虚構的親族名称
の用法を中心に―

余 鈞 清華簡『周公之琴舞』研究

平成二十六年年度岩手大学語文学会・発表題目一覧

第四十三回大会（平成二十六年七月十三日）

I 研究発表

ポライトネスの日中対照研究における理論的枠組

―ブラウン・レヴィンソン以後の展開を踏まえて―

邵俊俏（岩手大学大学院）

対称モデルの日中対照研究

―親族名称の虚構的用法に注目して―

張鈺涵（岩手大学大学院）

中日両国の方言使用地域における言語意識

（中国の言語事情研究と意識調査に関する中間報告）

清華簡『周公之琴舞』の基礎的研究 余鈞（岩手大学大学院）

第四十四回大会（平成二十六年十二月二十日）

I 卒業論文中間報告 中村真彩（岩手大学）
中世日本の〈苦しむ神〉

II 研究発表 加賀美瑞穂（岩手大学大学院）
文学読書単元が学習者にもたらす効果

―学習者研究の視点を通して―

現代中国の流行語に関する研究 張燕（岩手大学大学院）

漢代画像石における幾何文様の研究 呂慧云（岩手大学大学院）

III 講演

（いわての）教師を志すみなさんへ

鈴木美成（岩手県教育委員会）